

## 飛騨農林事務所の普及活動状況（令和5年3月31日現在）

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■飛騨市 認定農業者の会 堆肥活用を学ぶ

3月9日、飛騨市認定農業者の会では、岐阜県農業技術センター土壌化学部棚橋部長を講師に、「肥料価格高騰！今こそ堆肥の活用について」と題し、肥料コストの低減に向けた堆肥の活用について講演会を開催した。

当日は多数の認定農業者が参加し、堆肥の肥料代替効果の他、水稻、トマト、およびハウレンソウでの利用方法について研修し、活発な質疑応答が行われた。

農業普及課では、認定農業者の会事務局の飛騨市役所と連携し講演会の内容を検討、講師選定など今回の開催を支援した。

今後も、認定農業者の会の運営支援だけでなく、関係機関と連携し資材高騰対策など農業者に役立つ情報を提供する。



【農業技術センター部長の講演】

#### ■担い手 高山市農業長期研修生と指導農家との顔合わせ

3月13～15日、農業普及課が構成員の高山市就農支援協議会では、令和5年4月から独立自営就農を目指して農業長期研修生となる予定の4名（トマト2名、ほうれんそう1名、果樹1名）と指導農家との顔合わせを各農家宅にて行った。

顔合わせでは、指導農家と研修生の自己紹介に始まり、研修制度や研修内容の確認、農業普及課から品目毎に作成した研修カリキュラムや研修の進め方について説明した。

指導農家からは、長期研修で農業に必要な技術・知識を身に付けられるよう尽力するとの心強い言葉が贈られた。また、研修生は、研修後の独立自営就農に向け研修への強い意欲を示していた。

農業普及課では、農業長期研修生が研修を経て就農することができるよう、指導農家や高山市就農支援協議会の各関係機関と連携し、継続して支援を行っていく。



【指導農家と顔合わせ】

#### ■女性農業経営アドバイザー いきいきネットワーク飛騨ブロックの研修会～アロマづくり～

3月17日、「岐阜県女性農業経営アドバイザーいきいきネットワーク飛騨ブロック」は第25回通常総会に合わせ研修会を開催した。

研修会では「アロマづくり」をテーマに参加した21名がハンドクリームとルームフレグランスづくりを体験した。

最初に、講師の門端美智子さんからアロマの使い方や作成にあたって注意点の説明があり、参加者は蜜ろうを溶かしてハンドクリームづくり、アルコールとアロマオイルを混ぜてルームフレグランスづくりを楽しんだ。最後は、講師が「日々の疲れを今日作ったアロマで癒してほしい」と研修会を締めくくった。

農業普及課では、これからも農業での女性の活躍を推進するため、女性農業経営アドバイザーの能力向上だけでなく、会員間の親睦を深める機会の創出など活動を支援していく。



【アロマづくりを楽しむ】

## ■高山4Hクラブ 令和4年度総会を開催

高山4Hクラブは、高山市内に在住する31歳までの若手農業者の組織で現在42名の会員がおり、勉強会や情報交換を行っている。

3月22日、高山4Hクラブ総会を開催し、今年度の事業報告と決算ならびに次年度の事業計画と予算の承認がなされた。

今年度はコロナの影響により思うような活動ができないなかでも、東京大田市場への視察研修旅行や勉強会、交流会の開催、各支部での奉仕活動など積極的な活動を行った。

来年度はコロナ前に実施した行事の復活を予定しており、農業普及課では勉強会や情報提供を通して、高山4Hクラブの更なる活動を支援していく。



【今年度の活動を総括】

## ■青年農業士 経営に関する勉強会を開催

3月23日、岐阜県青年農業士連絡協議会飛騨支部主催の経営勉強会が開催された。

今回は、中小企業診断士の社外社員計画株式会社 中畑代表取締役を講師に招き、「決算資料を活かした経営分析について」と題して講演をいただいた。

参加者からは、「実践的でわかりやすかった」「経営について学ぶ機会が少ないのでよかった」という意見があった。

農業普及課は、今後も青年農業士の様々な活動を支援し、担い手の育成につなげていく。



【経営について学ぶ】

## ぎふ農畜水産物のブランド展開

### ■清見・荘川トマト部会 耕種基準説明会を開催

3月22日、JAひだ清見支店にて清見・荘川トマト部会耕種基準説明会が開催された。

当日は、これから始まる育苗中の栽培管理におけるポイントについて、JAひだの営農指導員から説明があった。

農業普及課からは、前作でも発生がみられた褐色輪紋病対策について説明を行った。調査の結果からみえてきた発病パターンから、高温状態が続かない環境づくりに取り組むよう注意を呼びかけた。

農業普及課では、営農指導員と協力して栽培中に定期的にほ場巡回を行い、生産者の単収向上に向けて支援を行っていく計画である。



【次年度作に向けて説明】

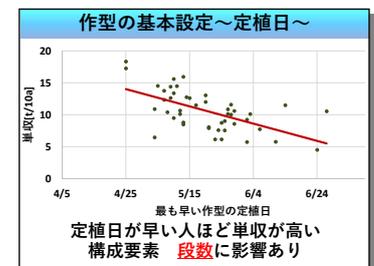
### ■吉城トマト部会 研修会にて栽培管理アンケートの結果を報告

3月27日、吉城営農センターにおいて、本年作のトマト栽培に向けた春季栽培研修会が開催された。

農業普及課では、本研修会の開催に先立って部会員全員を対象に昨年作の栽培管理に関するアンケート調査を実施しており、当日はアンケート調査結果に基づく高単収を達成するためのポイントについて説明を行った。

生産者の関心は高く、積極的な質問が上がったほか、部会員同士の情報交換が活発に行われ、単収向上への高い意欲が伺えた。

今年度は、感染症対策の緩和を受けて現地研修会をはじめとした各種取組も積極的に実施される予定で、農業普及課では組織活動の充実と併せ生産者の技術向上を支援する。



【アンケート調査結果の一部】